

# いしづち

愛媛労災病院広報誌第23巻第1号

(通巻第103号)

2023年1月5日発行

発行人：院長 木戸健司

## 理念

当院は働く人々のために、そして  
地域の人々のために信頼される  
医療を目指します

## 基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

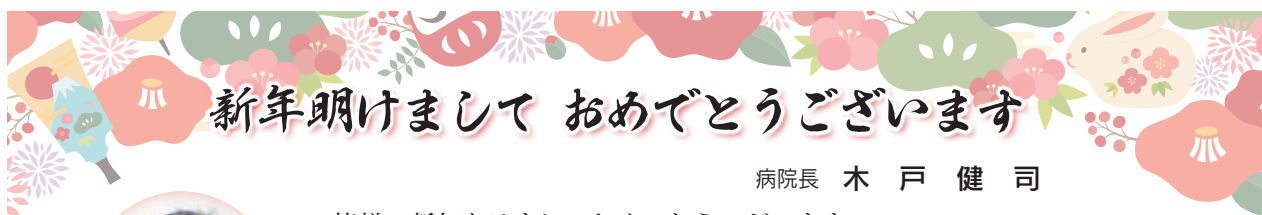
当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のよう  
に宣言します。

### 【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定  
やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

### 【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務



## 新年明けまして おめでとうございます

病院長 木戸 健 司



皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年1年間を振り返りますと、やはりコロナとの戦いに明け暮れたというのが実感です。8月にはクラスターが発生し、その後も院内からの患者が発生するたびに病棟の入院を制限せざるを得ませんでした。そういった状況の中で職員の皆様は、コロナ患者の入院治療、発熱外来、ワクチン接種といったコロナ対応をはじめ、通常の診療業務に献身的に自らの職責を果たしてくださいました。心より感謝いたします。

さて今年も同じような状態が続くとは思いますが、病院としては新たな1歩を踏み出していかねばなりません。本年3月には訪問看護ステーションが設置されます。当院のミッションである「地域密着型病院」にふさわしい取り組みだと自負しております。入院患者に占める高齢者の割合は増え続けていますが、高齢者の方が入院されると、その日から退院に向けてMSW、看護師が中心に動き出し、介護サービスなどを利用してスムーズに退院につなげていけるよう取り組んでいます。ここに訪問看護ステーションを組み込むことによって、よりシームレスな医療、介護が継続でき、地域との連携が深まるのではないかと期待しています。

社会に目を向けても昨年は大国の隣国への侵入や元首相の暗殺、異常な円安など暗い話題が目につきました。その中で今年が愛媛労災病院と皆様にとって「ブラボー!!」な1年となりますよう祈念いたします。



新年のご挨拶 .....	1	●	浮島校区文化祭に参加して .....	3
心臓リハビリテーションのすすめ .....	2	●	第9回 市民公開講座開催のお知らせ .....	4
2年目診療放射線技師です!! .....	3	●	新任医師紹介 .....	4

## 心臓リハビリテーションのすすめ

循環器内科部長 佐藤 晃

愛媛県は全国でも心臓病で亡くなる方が多い県です。そのため最近では愛媛大学や愛媛県が心不全に関する啓蒙活動に力を入れています。

心臓病になると、心臓が徐々に弱っていき、最終的には心不全が悪化して亡くなります。心不全は、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、徐々に悪化し命を縮める病気です。その治療としては、薬物治療以外に、機械的にサポートするデバイス治療、手術療法、在宅酸素療法と共に、運動療法（心臓リハビリテーション：心リハ）があります。運動療法を安全に行うためには、心肺運動負荷試験（CPX）を行って、嫌気性代謝域値（AT）を求めて運動処方を行います。ATは乳酸が産生される運動域値であり、心臓病の方がAT以上の負荷で運動や日常生活動作を行うと、心臓に負担がかかります。これは呼吸ガス分析装置で求められます。ATレベルを少し下回る強度で心リハを行うと疲れにくく、安全かつ効果的な心リハが行えます。なおいしづち2022年10月5日号もご参照頂けると幸いです。

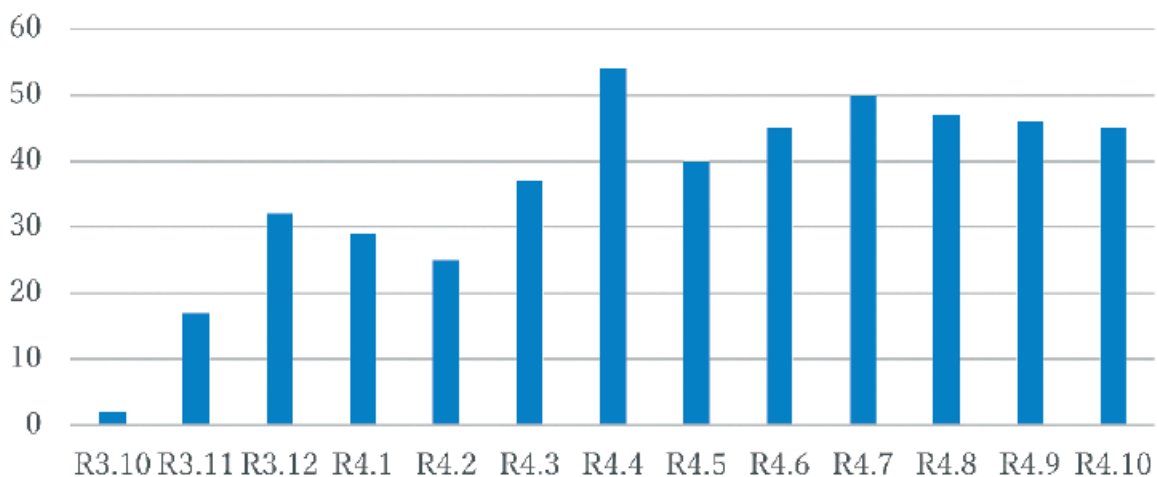
当循環器内科では、勤労者の急性心筋梗塞からの早期職場復帰や高齢者の生活の質の改善や維持のた

め、CPX装置を導入してからは、外来での心リハも積極的に行っています。

心不全患者さんはパンデミックとも言われるほど急激な増加傾向を認めています。長生きするためには心臓病になるのを予防すると共に、なってしまったら心臓のメンテナンスをして長持ちさせることが必要です。その方法の一つとして外来での心臓リハビリテーションを活用するのも有用と考えています。心臓病をお持ちで興味のある方は当循環器内科にご相談頂ければ幸いです。



外来心臓リハビリ実施件数

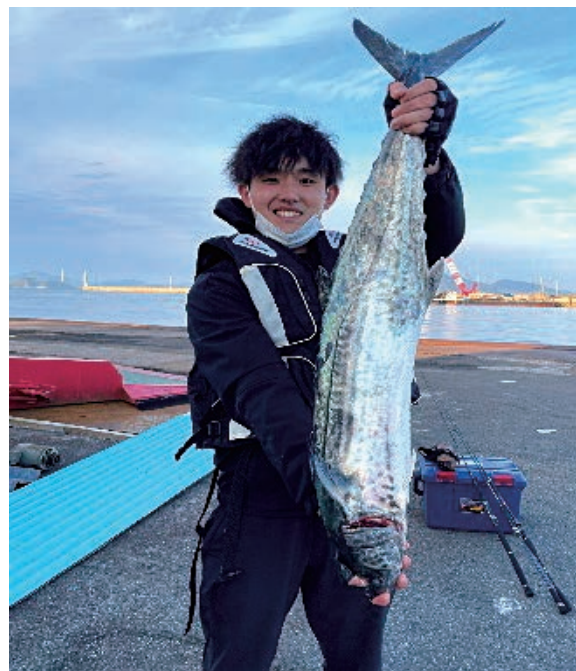


## 2年目診療放射線技師です!!

中央放射線部 西尾 総 悟

診療放射線技師になり2年を経験して、少しずつですが職場の雰囲気にも慣れ、新しいモダリティにもたくさん挑戦させていただいています。初めて一人で検査を担当した初心の緊張感をこれからも忘れず、一つ一つの検査の意義を理解していくことが技師のレベルアップにつながると考えています。さらに、部署の先輩とはもちろん、医師の先生方や看護師さん、コメディカルの方とも連携しながら仕事をしていくうえで、報告することの大切さや、臨機応変な行動の重要性を、常に感じています。また、仕事だけではなく、プライベートの方では仕事で疲れた息抜きで、趣味の釣りに没頭しています。先日船釣りを満喫してきました。何でも全力でをモットーに仕事もプライベートも全力で充実させていきます。

これからも日々精進していきますのでよろしくお願い致します。



部長より

大きく羽ばたいてくださーい(笑)

## 浮島校区文化祭に参加して

看護師長 日野 美 保

11月6日に浮島校区文化祭が開催され、当院からは6名が参加し健康相談コーナーを開設しました。会場には、主に地元の保育園、小中学校からシニアまで幅広い世代の方の書道や絵画、ハンドメイド作品が展示されていたことから、当日は年代を問わず多くの方の来場がありました。

私達は、38名の方々に身体計測と健康相談を行いました。今回は体重体組成計を持ち込み、BMIや体脂肪率だけでなく皮下脂肪率や骨格筋率、基礎代謝も計測しました。そのデータを示すことで、自分の体の状態を具体的にイメージでき、食事のみならず運動など、生活のどこを改善すればよいのかを理解していただくことに繋がっていました。

コロナ禍の今、外出の機会が減り運動不足を実感している方も多くいます。特に高齢者にとってはロコモティブシンドロームを予防することが大切であ

り、私達の活動がその一助になればと思います。

今回、感染対策をきちんと行った上で、対面で地域の方々と交流することができました。

まだまだWithコロナの状態が続く中、今後も地域の皆様の健康作りに貢献していく機会があれば、是非、参加させていただきたいと思います。



# 第9回 市民公開講座開催決定!!

## 知ろう心不全

### ～新居浜市民の心臓もまもりたいけん～

愛媛県では女性心不全死亡率が全国1位、男性心不全死亡率が2位という状況にあり心不全に関わる対策が喫緊の課題となっており、県では、「愛媛のハート、まもりたいけん」というキャッチコピーで、広く県民に、予防、早期発見、早期治療を呼びかけています。

当院でもこの愛媛県のキャッチコピーに併せて、「知ろう心不全～新居浜市民の心臓もまもりたいけん～」というテーマ・キャッチコピーで講演を行い、新居浜市民の皆様幅広く心不全について知っていただきたいと考えています。

心不全は、悪化と回復を繰り返しながら少しずつ進行していくため、早期発見・早期治療が重要であると共に、高血圧、糖尿病、脂質異常症といった生活習慣病の治療をきちんと続けることや、生活習慣そのものの見直しが予防につながります。

今回の講座では、医師、薬剤師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、看護師などの多職種が、それぞれの立場で心不全に関する知識を提供することで、市民の皆様「心不全」を知っていただくと共にその予防について具体的に考える場

にしたいと思っています。  
皆様のご来場お待ちしております。

令和4年度 第9回 愛媛労災病院 市民公開講座

**知ろう心不全**  
ハート  
～新居浜市民の心臓もまもりたいけん～

日時 令和5年1月28日(土)  
13:00～16:00 (開場 12:30～)

会場 新居浜市市民文化センター 中ホール  
※ 駐車場の数に限りがございます。可能な限り乗り合わせをお願いいたします。

心不全治療の最近の話題  
～併発症治療を中心に～  
第2循環器内科部長 見上俊輔

- 心臓から出るホルモンBNPについて 臨床検査技師 伊藤精野
- 心不全のおくすりについて 薬剤師 松原栄治
- 心不全のリハビリについて 中央リハビリテーション部長 足立博史
- 心不全予防のための食生活のポイント 管理栄養士 青野晶
- 心不全とうまくつきあうための日常生活のこころがけ 看護部長 平山由実

参加料 無料  
ご予約不要

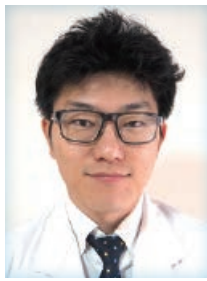
※ 新型コロナウイルス感染症の影響で中止または変更となる可能性があります。

主催 独立行政法人 労働者健康安全機構 愛媛労災病院 TEL(0897)333-619186 共催 新居浜市

# 新任医師紹介

なが お ゆう じ  
永 尾 祐 治

診療科：整形外科  
経験年数（医師免許取得後）：12年  
趣味：楽器（ドラム、ベース）、ライブ鑑賞



コメント：  
令和4年10月より勤務させていただいております。脊椎の慢性疾患と脊椎外傷、四肢の急性外傷を得意としています。よろしくお願いいたします。

広報誌編集メンバー 委員長：福井副院長 委員：篠原放射線科部長、大山看護副部長、日野看護部長、秋月看護師長補佐、和田看護師長補佐、大成主任薬剤師、清水作業療法士、高原管理栄養士、後藤診療放射線技師、井上臨床検査技師、稲富総務課長、河西総務課員、丸山医事課員